

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 2 月 14 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270201967		
法人名	有限会社 ユニ		
事業所名	グループホーム パール針尾		
所在地	〒859-3451 長崎県佐世保市針尾東町 2162-1		
自己評価作成日	平成 22 年 12 月 23 日	評価結果市町受理日	平成 23 年 2 月 18 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4270201967&SCD=320
--------------	---

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目 6 番 5 号
訪問調査日	平成 23 年 1 月 21 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

当事業所は理念をモットーに「ゆっくり いっしょに たのしく」過ごしていけるよう職員全員で協力し取り組んでおります。今年は春と秋にバス旅行で遠出をし普段行けない場所に出掛けたり、敬老会を近くのホテルで行い入居者が家族と楽しむ事ができました。今年新たな事では地域のボランティアグループ「シルバーバンド」より当ホームの歌として「パールソング」を作って頂き、毎日この歌が流れております。また、いつまでも健康に過ごせるよう体調管理には留意し、主治医と連携しながら適切な医療が受けられるよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

施設は、主要幹線道路と有料道路の間の日当たりの良い場所に位置しています。相対するユニットの中央にある玄関を介して行き来が可能となっており、どちらのユニットからも交流出来る形になっています。利用者のケアにおいては、個別性を重視し、入所時はもちろん、退所後のケアにも力を注がれています。外出の機会も多く、ホーム自身が孤立しない様、地域との繋がりにも努力されています。一人ひとりの利用者が安心でき、満足な生活が送れる様に、「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念の実現を目指されています。

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念である「ゆっくりいっしょにたのしく」を玄関に掲示し、管理者や職員はこの理念を共有し実践につなげている。	覚えやすい理念であり、玄関、リビング内での掲示により職員も共有する努力をされています。ボランティア作曲の理念に基づいた歌も共有に役立てられています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	管理者が地区の定例会に参加し、地区の行事等に利用者や職員が参加できるよう地域との交流を図っている。	管理者は地区の自治会、定例会へ参加するなど、地域の行事に積極的に利用者と共に参加されています。回覧板等で情報収集にも努められています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	管理者が介護教室で地域のグループホームの紹介や認知症について、地域の人々に説明し活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催している。そこで民生委員の方や市の担当者と意見交換しサービス向上に活かしている。	民生委員や市の職員が参加する中で、熱心な会議を行われ、サービス向上へと努力をされています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議で市の担当者と意見交換したり、生活保護の利用者との件で市に相談するなど連携を図っている	運営推進会議だけに限らず、電話や近くの支所での相談が行われています。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束委員会を設置。また身体拘束の研修に参加し全体会議で報告するなどし身体拘束について理解している。利用者の安全に影響を及ぼす時以外は身体拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>身体拘束防止委員会を設置されたり、外部研修に行かれたりと拘束防止に向けての取り組みをなされています。現在、夜間のみセンサーマット使用中ですが、家族の希望という事で、書類等での対応もなされています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止等の研修に参加し、全体会議で検討するなど、事業所内での虐待防止に努めている。</p>	/	/
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員は権利擁護について学ぶ事はないが、管理者は必要時には裁判所など関係者と話し合うなど権利擁護の活用を支援している。</p>	/	/
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>管理者は契約の締結時など利用者や家族等の要望をお聞きしたり、十分に説明するなど理解に努めている</p>	/	/
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置。また「苦情受付担当者、苦情解決責任者」を設置し、利用者等が意見等を表せるようにし、運営に反映させている。</p>	<p>外出希望等がある場合は、家族と連絡を取る対応をなされています。意見箱の設置や家族会等において意見を聞かれ、お互いが上手く関係を築ける努力がなされています。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日の全体会議で職員の意見を反映できるよう機会を設けている。また、それ以外でも必要時には随時、職員の意見を聞いて運営に反映させている。</p>	<p>職員と管理者の関係性は非常に良く、意見交換しやすい環境が見受けられます。毎月一度の全体会議においては代表者も参加され、お互いの意見を聞く場も設けられています。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は職員等の個々の実績等の把握に努め研修受講など向上心を持って働けるよう環境整備に努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は職員等の力量を把握し、研修受講を確保したり、資格が取得できるよう取り組んでいる。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>代表者は管理者が連絡協議会に参加したり、職員が近隣の同業者の勉強会に参加できるようにするなど、サービスの向上に努めている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの利用開始時には利用者本人の要望を十分に傾聴したり、入所当初は本人との関わりを多くするなど、本人との信頼関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族についても同様で、ご家族の要望を十分にお聞きし、信頼関係づくりに努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人とご家族と十分に話し合い、アセスメントし、必要としている支援を見極めたサービス利用に努めている。</p>		

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と洗濯物たたみなど家事を行ったり、利用者から生活の知恵を教えてもらうなど、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員等は家族と連携し受診や外出などの介助を家族が行うなど、家族との絆を大切に、共に本人を支えている関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等の面会や宗教のお祈りができるよう支援をしたり、これまでの関係が途切れないよう努めている。	友人や知人の面会もあり、家族の協力のもと、墓参りに行かれたり、行きつけの美容室へ行かれたりと馴染みの関係が継続できる支援に努められています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の仲など関係を把握し、隣同士に座っていただくよう配慮するなど関わりがもてるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所となっても面会に行ったり、家族の相談を受けるなど、契約が終了しても、これまでの関係を断ち切らないよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いなどは言動や行動から常に把握できるよう努めている。	利用者の表情や会話の中から、意向の汲み取りに努め、訴えが上手く出来ない方は、しぐさや、行動において汲み取る努力が行われています。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>サービス利用時は生活暦を把握したり、入所後も本人や家族からお聞きするなどして把握に努めている。</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人の一日の過ごし方など暮らしを観察し、ケースに記録するなど暮らしの現状の把握に努めている。</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の暮らしの現状を把握したり、面会時には家族にお聞きしている。また定期的にモニタリングし、職員でカンファレンスを開くなどし、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントの時点より、家族からの聞き取りが行われ、プランの確立に努められています。職員を担当制にする事により、細やかな個別ニーズがプランに反映され、ADL向上につなげられた事例もうかがえます。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践などを個々のケースに記録したり、申し送りノートを活用し職員間で情報を共有しケアや介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>体調変化時には職員を増員し受診介助を行ったり、不穏時には別ユニットに協力してもらうなど、その時々々のニーズに対応し柔軟な支援をとっている。</p>		
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアによるバンド演奏、講師による3B体操を行ったり、消防署に非難訓練を指導してもらうなど地域資源と協力している。</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医の他、専門医への受診が必要であれば、ご家族、協力医と相談のうえ情報提供をいただき適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>ホームの利用者は全て協力医がかかりつけ医となっており、週に一度の往診の他、必要に応じて、専門医への紹介が行われています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員の中に看護師及び准看護師の資格保有者がおり他の職員と常に情報交換をし、必要であれば協力医と連携をとりながら適切な受診や看護が受けられるよう支援している。</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際、安心して適切な治療が受けられるように情報提供を行い、早期に退院できるよう病院関係者と連絡を密にとっている。</p>	/	/
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化する前に管理者が本人や家族と話し合い、他の事業所を紹介し面接に来ていただくなど、今後の方針を共有し支援している。</p>	<p>看取りには基本的には取組まない方針とされています。重度化された場合は、医師の意見等に基づき、家族との密な連絡調整が行われ、退所後の支援にも努められています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>看護職等が応急手当の研修を受講し、全体会議で内容を報告し職員に周知させている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>管轄の消防署の協力を得ての火災予防訓練を年2回行い、利用者の非難方法を身につけている。</p>	<p>年2回の火災訓練が行われており、災害に際しての備蓄も準備されています。避難場所も全職員把握されています。</p>	<p>火災に際しての訓練は実施されていますが、災害はそれだけに決まった事ではありませんので、色んな災害に向けての避難の在り方等を検討して頂きたいと思っています。</p>

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄や更衣などの時はカーテンを閉めたりとケアを行う際はプライバシーを損ねないよう配慮している。また人格を尊重した対応を心がけている。	排泄や、入浴等肌を露出する場面では、特に配慮に努められています。本人のプライバシーを損ねない言葉かけ、誘いかけに配慮されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者希望をお聞きするなど、随時本人が自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課はほぼ決まっているが、居室で休みたいなど、本人の希望を尊重し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	白髪染めや散髪の支援を行っている。また外出時の衣類をご自分で選べない方には職員が本人の好みをお聞きしたり季節や場所に応じた服を選ぶなどの支援を行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	モヤシの根切りをしていただいたり、食器拭きなどを職員と行うなど、利用者の力に応じて食事が楽しめるよう支援している。	食事の準備や片づけ等、各個人に合わせた役割をもって接されています。又そば打ちや、饅頭作り等、一緒に楽しむ機会を設けたりと、食事が楽しめる様な取り組みがなされています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を記録している。水分不足の方にはポカリスエットのゼリーを提供したりと水分確保に努めている。		

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行う。介助が必要な方には能力に応じて声かけや介助を行ったり、義歯は週1～2回洗浄液に漬けるなど口腔内の清潔保持に努めている。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ケースに排泄状況を記載し排泄パターンを把握、できるだけトイレで排泄できるよう適宜トイレ誘導を行ったり排泄行為の不十分な部分だけ介助を行うなど自立支援を行っている</p>	<p>各部屋にトイレがあり、排泄の自立支援が行いやすくなっています。排泄チェック表を利用し、個別の排泄パターンを把握される等、自立に向けてのサポートが行われています。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分補給や体操等の運動を促すなど日頃から便秘予防に努めている。また便秘時には早めに下剤を追加するなど便秘を長引かせないよう支援している。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴は午後で要介助のため人数に限られ一日おき。平等に入浴できるよう予定者を決めているが、体調不良や本人の意思に添わない場合は曜日を変更するなど個々に応じた入浴を行っている。</p>	<p>入浴を楽しめるように、入浴剤を入れる等の工夫をされています。入浴を拒む方に対しては、言葉掛け等を工夫され対応されています。決まった日での入浴ではありますが、希望があれば問題なく対応できる体制をとられています。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼夜逆転のある方は夜間良眠できるように昼間は離床していただいているが、その他の方は居室やソファでゆっくり休めるよう支援している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の情報はケースに綴じてあり、薬の量や副作用は理解している。また個々の能力に応じて服薬介助を行ったり、薬の変更時は副作用などを申し送りしたり、状態変化に留意している。</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>趣味であった手芸や歌が唄えるよう支援したり、個々の力にあった家事の役割を持てるようにするなどの支援している</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>外出の希望があらわれる時は近所を散歩したりドライブに出掛けたりしている。また落ち込まれている時にはご家族と協力し一緒に外出できるよう支援している。</p>	<p>希望があれば、近所の物産館へ行かれたり、家族と共にお墓参りに行かれています。定期的な外出もあり、利用者の状態に応じた外出支援も行われています。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>紛失やトラブルを回避するため基本的には金銭管理は事務所が行っているが、家族の了解のもと少額の金銭を本人が管理し、近くの店で買い物をする事もある</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>手紙のやり取りはあまりないが、本人が希望される時は電話を掛けるなどの支援を行っている。</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには写真や季節の掲示物を掲示したり玄関には花を飾るなど季節を感じられるようにしている。リビングの温度計を見てエアコンを入れたり窓の開閉をするなど温度調整をしたり、空気清浄機を使用するなど生活環境を整えている。</p>	<p>共用スペースには、行事の写真等を飾り、利用者共々思い出を楽しめる様に工夫されています。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自由に居室で過ごしたり、気の合う利用者同士が近くに座れるよう配慮している。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使いなれたタンスをホームでも使用したり、仏壇を持ち込まれるなど本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。	本人が慣れ親しんだ物や仏壇、家族の写真等、安心につながる物が持ち込まれており、居心地の良い空間作りに努められています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には手すりが設置。また必要な方にはベッドに手すりを設置するなど安全に過ごせるよう工夫している。居室が分かれられない方は大きく書いた名札にするなど自分でするだけ移動できるよう工夫している		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念である「ゆっくりいっしょにたのしく」を玄関やリビングに掲示し、管理者や職員はこの理念を共有し実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	管理者が地区の定例会に参加し地区の行事等に利用者や職員が参加できるよう地域との交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	管理者は介護教室で地域のグループホームの紹介や認知症について地域の人々に説明し活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催している。そこで民生委員の方や市の担当者と意見交換しサービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議で市の担当者と意見交換したり、生活保護の利用者との件で市に相談するなど連携を図っている。		

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束委員会を設置。また身体拘束の研修に参加し全体会議で報告するなどし身体拘束について理解している。利用者の安全に影響を及ぼす時以外は身体拘束をしないケアに努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止等の研修に参加し全体会議で検討するなど、事業所内での虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員は権利擁護について学ぶ事はないが、管理者は必要時には裁判所など関係者と話し合い権利擁護の活用をし支援を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>管理者は契約の締結時など利用者や家族等の要望をお聞きしたり、十分に説明をするなどし理解に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置。また「苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員」を設置し利用者等が意見等を表せるようにし、運営に反映させている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月の全体会議で職員の意見を反映できるよう機会を設けている。また、それ以外でも随時、職員の意見を聞き運営に反映させている。</p>		

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は職員等の個々の実績等の把握に努め研修受講など向上心を持って働けるよう環境整備に努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は職員等の力量を把握し、研修受講を確保したり、資格が取得できるよう取り組んでいる。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>代表者は管理者が連絡協議会に参加したり、職員が近隣の同業者の勉強会に参加できるようにするなど、サービスの向上に努めている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの利用開始時には利用者本人の要望を十分に傾聴したり、入所当初は本人との関わりを多くするなど、本人との信頼関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族についても同様で、ご家族の要望を十分にお聞きし、信頼関係づくりに努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人とご家族と十分に話し合い、アセスメントし、必要としている支援を見極めたサービス利用に努めている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と洗濯物たたみなど家事を行ったり、利用者から生活の知恵を教えてもらうなど、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員等は家族と連携し受診や外出などの介助を家族が行うなど、家族との絆を大切に、共に本人を支えている関係を築いている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等の面会や宗教のお祈りができるような支援をしたり、これまでの関係が途切れないよう努めている。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の仲など関係を把握し、隣同士に座っていただくよう配慮するなど関わりがもてるよう支援している。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所となっても、面会に行ったり家族の相談を受けるなど、契約が終了しても、これまでの関係を断ち切らないように努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いなどは言動や行動から常に把握できるように努めている。		

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>サービス利用時は生活暦を把握したり、入所後も本人や家族からお聞きするなどして把握に努めている。</p>			
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人の一日の過ごし方など暮らしを観察し、ケースに記録するなど暮らしの現状の把握に努めている。</p>			
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の暮らしの現状を把握したり、面会時には家族と話し合ったりしている。また定期的にモニタリングし、職員でカンファレンスを開くなどし、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践などを個々のケースに記録したり、申し送りノートを活用し職員間で情報を共有しケアや介護計画の見直しに生かしている。</p>			
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>体調変化時には職員を増員し受診介助を行ったり、不穏時には別ユニットに協力してもらうなど、その時々ニーズに対応し柔軟な支援をとっている。</p>			
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアによるバンド演奏、講師による3B体操を行ったり、消防署に非難訓練を指導してもらうなど地域資源と協力している。</p>			

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>週に1度、かかりつけ医に往診してもらっている。必要時には本人や家族、かかりつけ医と相談し受診など適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態はケースに記録し、必要時にはその度、看護職員に伝え、適切な受診や看護が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際は情報を提供するなど安心して治療できるようにしたり、入院後は主治医等と情報交換を行なうなどし病院関係者と協力している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化する前に管理者が本人や家族と話し合い、他の事業所を紹介し面接に来てもらうなど今後の方針を共有し支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>看護師等が応急手当の研修を受講し、全体会議で内容を報告し職員に周知させている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>管轄の消防署の協力を得ての火災予防訓練を年2回行い、利用者の非難方法を身につけている。</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄や更衣時などカーテンを閉めたりとケアを行う際はプライバシーを損ねないよう配慮している。また人格を尊重した対応を心がけている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者希望をお聞きするなど、随時本人が自己決定できるように支援している。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課はほぼ決まっているが、居室で休みたいなど、本人の希望を大切に支援している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	白髪染めや散髪の支援を行っている。またご自分で衣類を選ばない方には好みをお聞きしたり、季節や場所に応じた服を選ぶなどの支援を行っている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食器拭きを職員と一緒にするなど、利用者の力に応じて食事が楽しめるよう支援している。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を記録している。水分不足の方にはポカリスエットのゼリーを食べていただいたりと水分確保に努めている。また体重増加の方には主食を計り提供するなど状態に応じた支援を行っている

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行ってもらっている。介助の必要な方には能力に応じて声かけや介助を行ったり、義歯は週2回洗浄液に漬けるなど口腔内の清潔保持に努めている。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ケースに排泄状況を記載し排泄パターンを把握、できるだけトイレで排泄できるよう適宜トイレ誘導を行ったり、排泄行為のできない部分だけ介助するなど自立支援を行っている。</p>		
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分補給や体操等の運動を促すなど日頃から便秘予防に努めている。また便秘時には早めに下剤を追加するなど便秘を長引かせないように支援している。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴は午後で介助を要するため人数が限られ1日おき。平等に入浴できるよう予定者を決めているが体調不良や本人の意思に合わない場合は曜日を変更するなど個々に応じた支援を行っている。</p>		
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼夜逆転のある方は夜間良眠できるよう昼間は離床していただいているが、その他の方は居室やソファでゆっくり休めるよう支援している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の情報はケースに綴じてあり、薬の量や副作用は理解している。また個々の能力に応じて服薬介助を行っている。薬の変更時は副作用などを申し送ったり状態変化の観察に努めている。</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食事時の挨拶や食器拭きなど個々の能力に合わせて役割をもつていただいている。また楽しみを把握しケアプランに反映し気分転換ができるよう支援している。</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>帰宅願望時など気分転換に近くをドライブしたり、予定を決めて四季折々の景色を見に出掛けるなどしている。また大型バスを貸切、全員で遠出するなどの外出も行っている</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>紛失やトラブルを回避するため基本的には金銭管理は事務所が行っているが、家族の了解のもと少額の金銭を本人が管理し、近くの店で買い物をする事もある</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>手紙のやりとりはないが、利用者が希望される時は電話を掛けるなどの支援を行っている。</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには写真や季節の掲示物を掲示したり玄関には花を飾るなど季節を感じられるようにしている。リビングの温度計を見てエアコンを入れたり窓の開閉をするなど温度調整したり、空気清浄機を使用するなど生活環境を整えている</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自由に居室で過ごしたり、希望時には居室にお連れするなど独りになれるようにしている。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人や家族の写真や本人が書かれた塗り絵など張ったり、自宅で使用されていた椅子などを置いたりして本人が居心地よく過ごせるよう配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には手すりが設置。必要な方にはベッドにも手すりを設置し安全に過ごせるよう工夫している。また各居室前には名札をつけ居室が分かり易いよう工夫している。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の
					2, 利用者の2/3くらい
					3, 利用者の1/3くらい
					4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある
					2, 数日に1回程度ある
					3, たまにある
					4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が
					2, 利用者の2/3くらいが
					3, 利用者の1/3くらいが
					4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が
					2, 利用者の2/3くらいが
					3, 利用者の1/3くらいが
					4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が
					2, 利用者の2/3くらいが
					3, 利用者の1/3くらいが
					4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が
					2, 利用者の2/3くらいが
					3, 利用者の1/3くらいが
					4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が
					2, 利用者の2/3くらいが
					3, 利用者の1/3くらいが
					4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない